KEIZAI DOYUKAI

参議院議員選挙の公示にあたって

2019 年 7 月 4 日
公益社団法人　経済同友会
代表幹事　櫻田　謙悟

１．　今回の参議院議員選挙は、令和時代初の国政選挙となる。我が国が直面している内政、外交上の課題をしっかりと直視し、選挙戦を通じて、新時代に目指すべき国のかたちについて国民的議論が深まることを望む。

２．　特に、財政再建や社会保障などについては、痛みを伴う改革が必要である。国民の将来不安解消に向け、各党が具体的メニューをもとに財源の裏付けや工程表を示しつつ、政策を競いあうことを期待する。

３．　近年、20 歳代を中心に若年層の投票率が低位で推移している。国民一人ひとりが政治、政策に関心を寄せ、有権者としての自覚をもって一票を投じてほしい。

４．　なお、国政選挙に際して、本会はかねてより会員に対し、経営者自らが投票を通じて政治への意思を表明するよう呼びかけを行ってきた。今回も投票率向上に向け、特に若年層に対しては、各企業の社員やその家族、関係会社などへ投票を促すメッセージを発することや、投票日当日はもちろん期日前投票・不在者投票を含め業務上の配慮をするなど、企業として投票環境の整備に取り組むよう、会員各位に協力を依頼する。

以　上